PONY GROUP

五十周年記念能

TSUCHIGUMO

土蜘蛛

高砂

舞囃子

関根祥丸

大鼓 安福光雄
小鼓 鵜澤洋太郎
太鼓 小寺真佐人
笛 小野寺竜一

地謡
観世三郎太
坂口貴信
角幸二郎
関根知孝
上田公威

羽衣

和合之舞

観世清和

大鼓 安福光雄
小鼓 鵜澤洋太郎
太鼓 小寺真佐人
笛 小野寺竜一

地謡
杉浦悠一朗
木月宣行
清水義也
山階彌右衛門
浅見重好

― 休憩二十分 ―

土蜘蛛

頼光 関根祥丸
トモ 井上裕之真
胡蝶 古橋美香
僧／土蜘蛛の精 小林慶一
黒頭
従者 矢野昌平
独武者 福王和幸
従者 村瀬提
間 野村太一郎
後見 観世三郎太
観世清和
坂口貴信

大鼓 安福光雄
小鼓 鵜澤洋太郎
太鼓 小寺真佐人
笛 小野寺竜一

地謡
木月宣行
清水義也
角幸二郎
岡庭祥大
浅見重好
観世芳伸
山階彌右衛門
関根知孝

終了予定　午後7時頃

観世 清和

Kiyokazu Kanze

◎プロフィール／東京都生まれ。二十六世観世宗家。1990年宗家継承。初世 観阿弥・二世 世阿弥・三世 音阿弥の子孫。

観世流家元として年間80番以上のシテ（主役）を勤め、その数は斯界随一であり、現在の能楽界を代表する。国内はもとよりフランス、アメリカ、インド、タイ、中国など世界各地で公演、2016年7月ニューヨーク・リンカーンセンターにおける招聘公演は高い評価を得て大成功を収めた。また観世宗家に伝わる能面・能装束・伝書を収蔵する「一般財団法人 観世文庫」を設立し「観世アーカイブ」（インターネット）にて世阿弥 自筆本をはじめ、多くの伝書・文書類を広く公開し、能楽の研究と普及に尽力している。2017年には「観世能楽堂」を銀座へ移転。（独）日本芸術文化振興会評議員として日本の伝統芸術の保存と継承に寄与。また、東京藝術大学音楽学部講師、国立能楽堂三役養成主任講師として後進の育成にあたる。著書・共著・監修に『観世清和と能を観よう』、『新訳 風姿花伝』、『能はこんなに面白い』などがある。

◎主な受賞歴《1996年 第46回芸術選奨文部大臣新人賞》《1999年 フランス文化勲章シュバリエ受章》《2002年 渋谷区制七十周年記念 特別表彰》《2013年 第63回芸術選奨文部科学大臣賞》《2013年 第33回伝統文化ポーラ賞 大賞》《2015年 紫綬褒章》《2019年 JXTG音楽賞 受賞》

武家の棟梁・源頼光が病気で寝込んでいるところに侍女の胡蝶という女性が薬を持って見舞いに訪れる。

その夜、いつの間にか現れた怪しい僧が頼光の枕元へと迫り、古歌を詠じるや頼光に蜘蛛の糸を投げかける。頼光が咄嗟に枕元の太刀を抜いて斬りかかるとその僧は姿を消した。

駆けつけてきた家臣の独武者に頼光は一部始終を語る。武装した独武者は流れた血の跡を追うと古塚に行き当たる。それを数人の従者とともに崩していると、塚の内より土蜘蛛の精が現れる。土蜘蛛の精は蜘蛛の糸を投げかけ独武者たちを苦しめるが、独武者はついに斬り伏せ首を落として都へ帰る。

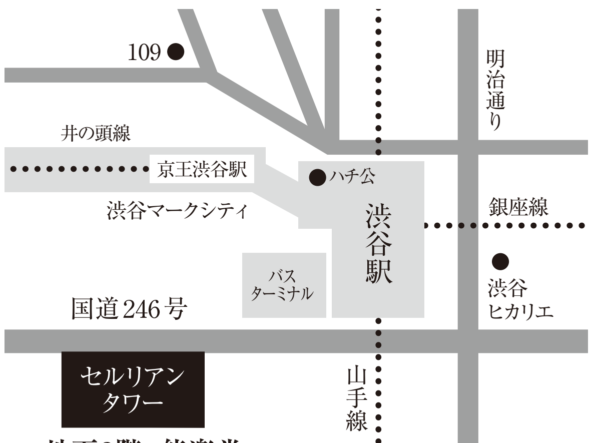
2019年11月16日（土）
16:00 開場／ 17:00 開演

CERULEAN TOWER 能楽堂
NOH THEATRE

https://www.ceruleantower-noh.com
東京都渋谷区桜丘町26番1号B2F　TEL.03-3477-6412

- ●電車：東急東横線・田園都市線、JR山手線・埼京線、東京メトロ銀座線・半蔵門線・副都心線、京王井の頭線の渋谷駅より徒歩5分●成田空港より：リムジンバスで約110分
- ●羽田空港より：リムジンバスで約50分 ●東京駅より：JR山手線（外回り）で約25分
- ●首都高速：渋谷ランプより約5分

主催／ポニーグループ
後援／一般社団法人観世会
https://kanze.net



地下2階　能楽堂